

事業概要：移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」

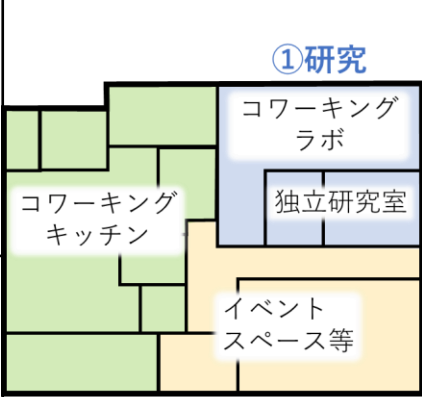
旧制度（推進）

申請者	京都府ほか12自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,955,155千円 (410,907千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	移住者等を地域に積極的に受入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、自分の実現したい生き方や追いかけていたいテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取り組みが地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 府・市町村等が一体となり移住施策を展開。仕事・交流・フォロー支援により移住定住を一体的に進めるとともに、関係人口の拡大と地域活性化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○移住者へのフォローアップ、交流人口や関係人口との循環拡大 72,895千円 移住者受入・活躍応援事業 他 ○移住者の「職」への支援＋関係人口の取込 89,578千円 ワーケーション推進エリアにおける関係人口づくり 他 ○移住者等受入整備事業 152,436千円 地域内の空家改修による移住者受入促進 他		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数（年間）（+1,430人） ②京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数（新規取り組み地域）（+22地域） ③当該年度の移住者の定住率（令和元年度実績の維持）（0％）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボ整備事業

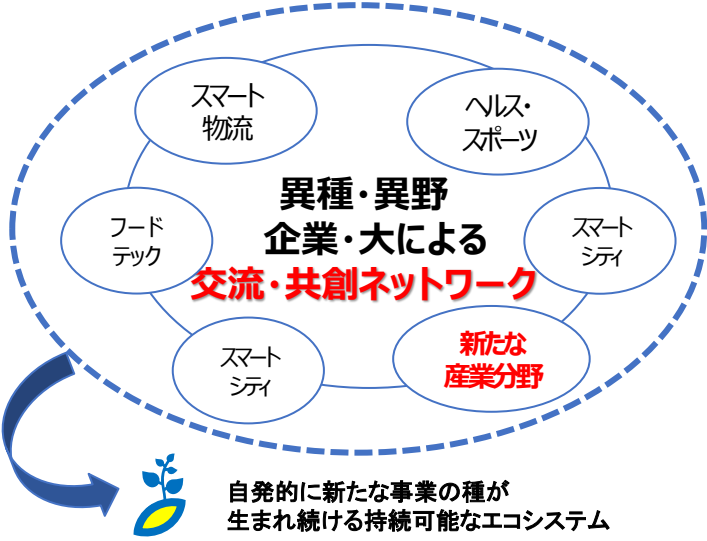
旧制度（拠点）

申請者	京都府	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,091,953千円(633,572千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	高機能性中食など加工食品の開発拠点となる京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボを整備し、地域の食材、食文化、中食開発技術を結びつけ、地域ブランド中食を生み出すことにより、農林水産業を含む食関連産業の成長産業化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「京都食ビジネスプラットフォーム」から生まれたアイデアなどの商品化に向けた試作品の作製、機能性成分の分析、品質の評価等を通じ、府内産農産物を活用した中食向け機能性食品などの開発を支援するための拠点を整備。分析などが可能な分析機器や物性の調査機器を導入し、分析結果の数値をデータベース化することで、効率的な商品開発を可能とする。		   開発商品イメージ
	【R8年度事業 経費内訳】 ・【建築・電気設備・機械設備工事】 施設改修 278,316千円 ・【備品整備】試験研究・食品加工機材の導入 262,381千円 ・【効果促進事業（ハード事業）】 既存施設の解体等 92,875千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①山城地域12市町村の農業産出額（+7億円） ②本施設を利用する食品加工業者数（+2,100団体） ③本施設を利用して事業化された加工食品の販売金額（+5億6,000万円） ④本施設を利用する農家数（+1,050人）		（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html
		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

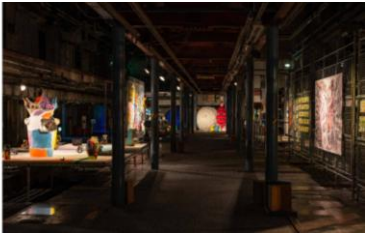
申請者	京都府ほか2自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	109,316千円 (51,682千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	京都府の各地域が持つ資源等の強みを生かしながら、10年後、20年後の近未来を見据え、産業の中核となる蓋然性の高いテーマを掲げ、イノベーションに取り組む国内外の異業種・異分野の企業や大学、研究機関等の集積を図り、交流・共創を通じて、次代の産業を創出する拠点づくりに取り組むとともに、深化型のオープンイノベーションネットワークを構築することで、交流基盤を拡大し、自発的に新たな事業の種が生まれる持続可能なエコシステムを形成する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 先進分野をテーマにしたオープンイノベーションネットワークの構築に向けた産学官による勉強会、異業種・異分野の人材が相互交流する仕掛けづくりに向けた交流拠点整備やピッチ会、イノベーション創出や産業化を図るための土台整備に向けた国内外の企業・起業家に対するPR、実証試験等の実施を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート物流、スマートシティ等をテーマにした勉強会や市場調査の実施、ヘルス・スポーツ、サステナブル産業等に係る実証試験の実施、国内外の企業等に対する新たな事業のシーズ等の発信（26,000千円） ・東部丘陵地中間エリアのまちづくりに関する市場調査や勉強会の開催、誘致企業等の検討などの実施（22,182千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業を通じた新規就業者数（+17人） ②オープンイノベーションエコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数及び大企業等とスタートアップのマッチング件数（+60件） ③国内外の企業・大学等の参画団体数（+300団体）	URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的用途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、城陽市、井手町の広域連携事業



事業概要：アートを核とした回遊性の創出による賑わいづくりと移住促進

継続

申請者	京都府ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	972,635千円 (349,034千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・アーティスト等クリエイター専用の短期滞在施設の運営や子どもや親子等を対象としたアートスクールの運営によって、地域と現代アートの融合による交流人口、移住者の増加を目指す。 ・広域周遊型の「京都国際芸術祭」の開催やインバウンドも含む周遊ツアー商品の磨き上げによるファンづくりによって、現代アートを核とした広域周遊による交流人口の増加を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・商店街の空き店舗や廃屋などを芸術祭へ招聘したアーティスト専用の短期滞在施設として通年利用する遊休施設の活用促進する。 ・過去に移住したアーティスト等を講師に迎え、ワークショップやアート鑑賞プログラムなどアートスクールを開催する。 ・美術館や博物館など京都の文化芸術を活かし、地域の魅力を芸術で発信する広域的な「京都国際芸術祭」を開催する。 ・インバウンドを主なターゲットとして周遊ツアー商品を磨き上げ、海外プロモーションを実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アーティストの滞在支援（委託料等）59,000千円 ・アートスクールの開催（負担金等）121,840千円 ・芸術祭開催経費（負担金等）103,900千円 ・旅行商品及び海外プロモーション実施（負担金）15,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①京都府域へのクリエイティブ人材など芸術祭関係者の移住者数（+ 210 人） ②アーティストやクリエイター等の移住に関する相談件数（+ 1,500件） ③アートスクールの参加者数（+ 900人） ④府域の観光消費額（府域の住民 1 人当たりの額）（+ 3,000円） ⑤経済波及効果（+ 60億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、宇治市、宮津市、京田辺市の広域連携事業

事業概要：Kyoto Kougei Product 世界市場展開推進事業

継続

申請者	京都府ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	562,660千円 (195,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高い技術力を活かして生み出される製品を「Kyoto Kougei Product」として世界市場へ展開させる。 ・オープンイノベーションとマーケットニーズに応じた商品づくりの流れを生み出し、新たな仕事や取引を呼び込む。 ・意欲ある職人による新しいチャレンジと府内外の学生や若者の新規参入を業界を挙げて受け入れることで、関係人口の拡大と雇用の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伝統産業専門の支援拠点「Kyo-Densan-Biz」を核として、世界市場にチャレンジする事業者の拡大を図るため、京都の伝統産業事業者における経営者マインドの醸成を図るとともに、ブランディング及びマーケット分析、マーケットニーズに応じた商品開発に係る支援を充実させ、世界へ挑戦する地力のある事業者を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・世界市場への進出を伴走支援する支援体制の構築（委託料）30,800千円 ・世界市場進出のための拠点整備と機会構築（補助金）60,000千円 ・オープンイノベーションによる商品開発（負担金）67,500千円 ・伝統産業を次世代に承継するための普及・魅力発信（委託料）36,750千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たに京都の伝統産業に従事することとなった者（+ 30人） ②海外等のマーケットニーズに応じた新商品の開発件数（+ 600件） ③支援事業への参加事業者数（+ 175者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、宇治市の広域連携事業

事業概要：農林水産業担い手確保育成戦略事業費

継続

申請者	京都府ほか 7 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	830,690千円 (326,180千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材を効果的・効率的に確保・育成する。 ・インターンシップ等の取組を通じて、農山漁村地域での就農・就業イメージを醸成するとともに、地域・市町村での人材確保・育成体制を整備する。 ・農林水産物の高付加価値化や生産性の向上により、所得の増大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 担い手の確保・育成に当たっては、これまで農業、林業、水産業の各分野独自に実施してきた人材確保・育成施策を、分野横断的に誘導から相談・体験、実践研修、就農・就業支援、経営発展の各段階を一気通貫で効率的に支援する体制を整備するとともに、大学、民間企業などと連携し、高度な知識や技術習得を可能とするためのネットワークを構築し、他府県にはない魅力ある研修体系を確立することにより、京都府における農林水産業の成長産業化と農山漁村の活性化に資する人材を育成する。また、「稼げる農林水産業」を実現し、新たな人材を確保するため、スマート技術など生産性向上や新たな価値の付加等を目的とした研究を実施し、開発された技術を現場に実装する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート技術など生産性向上や気候変動に対応した品種や栽培技術の開発、新たな価値の付加等を目的とした研究開発を実施（委託料） 36,160千円 ・地域特産物等の産地形成や生産拡大に必要な備品購入費を支援（補助金） 54,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府内農林水産業への新規就業者数（+735人） ②過去 3 年間で府内に就業した研修教育機関卒業生の定着率（+5.4%） ③新商品・新サービスの開発支援数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、舞鶴市、宮津市、亀岡市、八幡市、精華町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：「まるっと京都」周遊観光プレミアム化促進事業

継続

申請者	京都府ほか24自治体※					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,039,982千円 (355,230千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	京都府・京都市をはじめ、府内市町村や各DMOが一つの主体を形成し観光コンテンツの造成・深化に取り組むことにより、府内各地に点在する文化観光コンテンツをつなぎ合わせ、高付加価値化に向けた魅力的な観光ツアーや観光ルートの造成等に取り組むことで府内全域での観光消費額の増加を図る。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・府内各地に点在する文化観光コンテンツをつなぎ合わせ、高付加価値化に向けた魅力的な観光ツアーや観光ルートの造成する。 ・造成した観光コンテンツの魅力発信にあたっては、各団体が有する強み（専用サイトやアドバイザー）を府域全体で融通利用することにより、各方面で府域周遊観光の一体的なプロモーションを積極的に実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・府域周遊観光の高付加価値化等推進事業 府域周遊観光推進協議会による観光コンテンツ造成 91,000千円 ・各団体の強みの融通利用によるプロモーション強化事業 府域周遊観光推進協議会による一体的な観光プロモーション事業 46,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+7,000万円） ②宿泊者数（+500,000人） ③周遊コンテンツの造成数（+100件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：こども・若者がつくるあたたかい京都プロジェクト事業

新規

申請者	京都府ほか11自治体					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,359,997千円 (422,536千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	こどもや若者が地元の商店・企業、地域住民と協働し、地域課題の解決につながる取組を推進し、多世代・多分野の地域住民間の交流を促進する拠点形成を進めること等により、街の各種活動の活性化、地域に活気があると感じる住民の割合増加を図るとともに、地域へ愛着を持ち主体的に参画することも・若者の育成・定着を推進し、地場産業と地域の持続可能性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 こども・若者が地域企業や多世代の住民と協働し、商店街や伝統行事の活性化、地域産業の振興等地域課題の解決に取り組む事業を京都府・市町村が推進し、地域住民間の交流を促進する拠点整備を行う。また、若者の府内定着を支援するため、府独自の「就労・奨学金返済一体型支援事業」を活用した企業とのマッチング支援や、企業に対し働きやすい職場づくりの支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・団体やイベントへの助成、こども・若者と地域・学校をつなぐコーディネーターの設置、こども・若者がまちづくりや行政施策等へ意見表明をする場の開催などを実施（委託料等）176,608千円 ・地域課題の解決や多世代交流に資するものとなるよう伴走支援を実施（補助金等）150,000千円 ・若者と府内企業とのマッチング支援や企業に対する働きやすい職場づくりの支援（委託料等）95,928千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会減抑制（+3,753人） ②住んでいる地域ににぎわいや活気があると思う人の割合（+13%） ③住んでいる地域が、子どもが育つのによい環境だと思う人の割合（+16%） ④学生の地元就職率（+9.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：観光共創サステナブル地域経済づくり事業

新規

申請者	京都府ほか22自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,861,214千円 (826,780千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少下においても、持続可能な地域経済を形成するため、観光産業と地場産業の連携により、域外からの消費や人流を地域に取り込み、双方の高付加価値化を実現する。また、地域住民・事業者や移住者など多様な主体の参画により、地域の地場産業や文化資源等を活かした体験型コンテンツ等を創出・提供し、観光による経済効果を地域全体に広く波及する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 データに基づく観光マネジメントの高度化と併せ、これまで観光との連携機会が少なかった地場産業や生活文化などの地域資源に焦点を当てるとともに、地域の多様な主体が参画できる仕組みを構築することにより、地域経済全体の高付加価値化を図るとともに、観光による経済効果を地域全体に広く波及させる。 ・高付加価値観光地域創出のためのデータ利活用体制の構築 ・観光と地場産業や地域資源との共創による持続可能な地域経済の確立 ・多様な地域人材が参画するローカルビジネスの創出						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域資源との共創による持続可能な観光の確立（委託料等） 417,694千円 ・多様な地域人材が参画するローカルビジネスの創出（補助金） 54,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府域の観光消費単価（+1,500円/人） ②観光資源が活用されていると思う人の割合（+6%） ③再来訪したいと積極的に思う人の割合（日本人）（+6%） ④再来訪したいと積極的に思う人の割合（インバウンド）（+6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	 (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：少子高齢化社会における伝統文化による地域振興事業

新規

申請者	京都府ほか4自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	695,156千円 (263,856千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・京都の魅力ある地域文化・伝統文化には、守るべき対象にとどまらず、観光資源として活用することで、地域経済を再生させる大きな潜在力を持っており、魅力の再認識と魅力向上の取組により、地域を活性化する。 ・伝統文化・地域文化について、若年層に興味を持ってもらう仕組みを作るとともに、観光資源としての魅力も高めることで、地域産業の充実、府域における人口交流促進の仕組みを作る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・伝統文化交流祭典を実施し、地域や世代を超えた人々が伝統文化・地域文化を通じて交流し、地域文化の魅力を発信することで、今後の地域の祭りにおけるピーターを増やし、観光商品としての地域文化確立の足掛かりとする。 ・京都府事業である「寛永行幸四百年祭」と連携し、注目度を向上させることで、さらなる魅力発信を図っていく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域文化と伝統文化の新たな魅力を発信する伝統文化交流祭典開催経費（負担金）110,000千円 ・伝統文化に対する若者の関心を高める学生地域・伝統文化体験事業実施経費（委託料・負担金）60,000千円 ・寛永文化と地域の魅力を発信する寛永行幸四百年シンポジウム開催経費（委託料・負担金）20,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府域の観光消費額（府域の住民一人当たりの額）（+3,000円） ②地域文化の保存会への新たな若年層（20代・30代）の加入者数（+60人） ③30代までの府民で地域の芸能や祭りに参加している人の割合（+45.30%） ④祭りを契機とした府域への移住者数（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、亀岡市、宇治市、木津川市の広域連携事業

事業概要： 未来を拓く京都産業の実現に向けたグローバル・エコシステム構築事業

新規

申請者	京都府ほか 4 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	910,375千円 (290,325千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・海外のエコシステムとの関係性を緊密化し、相互連携を強化することで、京都の強みである脱炭素やライフサイエンスなどのディープテック分野に対する海外からの投資や人材を呼び込み、スタートアップの創出・成長を加速する。 ・国内外のスタートアップと府内中小企業等とのオープンイノベーションやビジネスマッチングの機会を拡充することで、経営基盤や競争力、新事業創出機能の強化を図り、世界に通用する持続可能な京都産業を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ディープテック分野等における研究シーズの事業化やインキュベーション機能の強化、国内外の起業家・支援者を呼び込む多様な交流・共創の機会の拡充、世界基準の新事業創出に向けた異分野・越境連携の加速などを通じて、グローバル・スタートアップ・エコシステムの深化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市場ニーズに合わせて企業を生み出す海外インキュベーターの誘致（負担金・委託費）14,000千円 ・世界最大のショーケースへの出展による海外展開・販路拡大支援（会場使用料、委託費、役務費）23,000千円 ・脱炭素エコシステム都市としての国際的ブランディングのための共創プロジェクト創出に向けた産学公交流イベントの開催（委託費）17,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①従業者一人当たりの高付加価値額（4,200千円） ②スタートアップ創出件数（+ 300件） ③海外からの資金調達件数（+ 10件） ④国内外のスタートアップ企業と府内中小企業とのマッチング件数（+ 60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、精華町、宇治市、京田辺市、京都市の広域連携事業

事業概要：向日町競輪場敷地再整備事業（京都アリーナ（仮称）整備・向日町競輪場再整備）を中心とした官民連携による地域創生プロジェクト

新規

申請者	京都府、向日市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,960,000千円 (342,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	向日町競輪場敷地再整備（京都アリーナ（仮称）整備・向日町競輪場再整備）を行い、新たな交流拠点を創出し、交流拠点を中心として、スポーツ振興、多世代交流や地域ブランドの向上などを図る。このことから、地域内での循環と地域外からの来訪者による交流拠点での消費・来訪者による地域での消費により、消費額の流入超過に寄与することで、地域活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 敷地再整備事業として、「する」「みる」「ささえる」スポーツや音楽等の文化芸術の拠点となるアリーナ（交付金対象外）、競輪施設、地域の祭りやマルシェなどの開催が可能なイベント広場などの整備を計画している。また、整備後の新たな交流拠点を中心としたイベント開催等による観光競争力の向上や地域活性化を目指し、整備以前から、関連施設でのイベントを開催するなど、機運醸成や地域への来訪者の誘引を図る。加えて、観光振興を始めとした地域の活性化に伴う訪問客の増加への対応のため、地域の道路を整備するとともに、道路から連続性を持った歩行空間を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「竹の里・乙訓エリア」の観光振興 13,000千円 ・新たな交流拠点を核としたスポーツの推進 70,000千円 ○拠点整備事業 ・向日町競輪場敷地再整備 建築物新築工事 10,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 248,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2,510百万円） ②地域への訪問客数（+100万人） ③住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：京都舞鶴港大野辺緑地を中心とした持続的な賑わい空間創出事業

新規

申請者	京都府、舞鶴市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R13年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	976,700千円 (31,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・京都舞鶴港第2ふ頭・大野辺緑地・第4ふ頭の面的整備を軸に、情報発信拠点の整備と港イベント・社会実験の定着化、シャトル・シェアモビリティ・徒歩圏観光等による回遊性向上、およびクルーズ受入の多言語化と動線・景観を含む道路整備を一体で進める。これにより、クルーズ旅客を含む来訪者の消費を、市街地・商店街・港湾エリア内の飲食・小売・水産加工・工芸等の地元事業者の販路・収益機会へ確実に波及させ、地場産業の付加価値向上と経済波及効果の最大化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・舞鶴港第2ふ頭周辺の大野辺緑地を中心としたエリアにおける賑わいを創出し、地域住民や来訪者が日常的に立ち寄れる空間を形成する。 ・クルーズ船寄港時の近接的な経済波及につながるまちづくりを促進する。 ・みなと緑地PPP(官民連携)の活用により、民間事業者による持続的な運用を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・みなとオアシスを活用したイベントの実施（需用費、委託費）2,000千円 ・シェアモビリティサービスの導入等、港周辺の二次交通の確保（役務費、需用費）13,900千円 ・クルーズ寄港時の観光周遊促進（補助金、委託費）15,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	・①市内年間観光消費額（百万円）（+12百万円） ・②クルーズ船受入数（回）（+27回） ・③市内年間観光入込客数（千人）（+103万人） ・④エリアプロジェクトにおけるイベント来場者数（+6.5万人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html